

クィア仏教学研究会



トランスジェンダー 当事者住職からみた仏教

発表者 柴谷 宗淑氏（真言宗 性善寺住職）

真言宗僧侶、トランスジェンダー女性。高野山大学・博士（密教学）。大阪府守口市の性善寺（大徳山淨峰寺）住職。高野山真言宗権少僧正。元新聞記者（読売新聞社勤務）で、学位取得後は高野山大学密教文化研究所で受託研究員、委託研究員を務め、巡礼遍路学会では事務局長を務めた。性的少数者、LGBTに対する支援活動にも取り組んでいる。

レスポネント 齊藤 正美氏（富山大学 非常勤講師）

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科・博士（学術）。専門は社会学・フェミニズム・メディア研究。共著に『宗教右派とフェミニズム』（青弓社）、『まぼろしの＜日本の家族＞』（青弓社）、『国家がなぜ家族に干渉するのか』（青弓社）、『宗教2世』（太田出版）など。

コーディネーター

宇治 和貴氏（筑紫女学園大学教授・クィア仏教学研究会代表）

那須 英勝氏（龍谷大学教授・世界仏教文化研究センター応用研究部門研究員）

現在、アメリカをはじめ世界各地で「反DEI（多様性、公平性、包摂性）」や「トランス排除」の言説がSNSなどを通して広範に流布し、トランスジェンダー当事者へのバッシングが世界的規模で激しさを増している。ネットメディアなどの普及により、「正しさ」への思考が難しくなる中、私たちは仏教者としてこの事態とどのように向き合うべきなのだろうか。仏教ではすべての生命の尊厳が説かれている。いま、日本に生きる仏教徒の一人として現実を見つめた時、これまで苛烈な差別の対象として虐げられてきたトランスジェンダー当事者が、再度、蔑みの対象となり、その尊厳が損なわれていく事態を看過することはできない。

そこで、本研究会では、トランスジェンダー当事者である柴谷宗淑氏のライフヒストリーにもとづいた、日本仏教への視座についてご発表いただく。柴谷氏のご発表を通して、私たち仏教者がトランスジェンダーの問題とどのように向き合うべきかについて考え、共に生きるためのヒントを得る機会を持ちたい。

2025年8月29日(金)

14：00～17：30

龍谷大学大宮学舎 黎明館3階会議室

（対面・Zoomハイブリッド開催）

お申し込み（先着30名）

ご参加をご希望の方は、下記のURLよりお申し込みください。

■会場参加

<https://forms.gle/uGtL94EKz4UwTmBc9>



■オンライン参加

<https://forms.gle/DQf4sAYuR79GrtF29>



主催・お問い合わせ先

世界仏教文化研究センター応用研究部門 人間・科学・宗教オープン・リサーチ・センター

Mail : rcwbc.app@gmail.com

Tel : 075-343-3812（世界仏教文化研究センター共同研究室（白亜館））

共催 クィア仏教学研究会